

# 写真はデジタルになって豹変し、新しいメディアに 浸食拡大する。さあ常識を突き破る想像力を持て。

## 石毛 正昭 海の音

Ishige Masaaki

デジタルフォトの最前線で何なんだろう？ 暗室作業の手間がはぶけること？ でも、それが無くなってもソフトを使った画像処理があるでしょう。どう処理するか、人によってよりけりだけど、僕にとっては、これがまた、やっかいな作業なんです。だから僕は、撮る前にデジカメの設定に気を配ります。言わば撮影の段階で決めたいのです。それぞれのやり方で、のびのびと写真を撮れば良いと思います。ひたちなか市馬渡2525-298 ISHIGEフィルム TEL & FAX 029-276-9187

## 石川 典人 Life

Ishikawa Michito

季節、時間、によって様々に変わって行く風景があって、それは時間が経つにつれ、そこで生活した人々の記憶になっていく。環境の変化と共に人々の生活も社会も変化していく。今回の写真は、情報誌の表紙用に撮影した風景です。東京工芸大学短期大学部写真応用科卒業 (社)日本広告写真家協会会員 石川写真 〒309-1211 桜川市岩瀬17 TEL 0296-75-2403 FAX 0296-76-0868

## 斉藤 佳代子 イケメン白書

Saitoh Kayoko

最近話題になってる佐川急便イケメンドライバーの写真集。それと17才のイケメンモデルくんが人気だったり。なんかイケメンが気になります。で、私もカメラマンの特権を悪用？してイケメンのレポートをしてみました。イケメンモデルのみなさん、楽しい時間をありがとう！それぞれの魅力を更に表現出来るよう、画像処理で仕上げってみました。私好み？になっているかもしれませんが、どんな男子か想像して楽しんでください。ひたちなか市三反田3391-2 STUDIO MONO TEL&FAX 029-212-3184

## 沼田 淳子 水の呼吸

Numata Junko

森に逢いに行く。ひんやりとした空間に入る。水は苔になり、樹になり、人になり、そして大気になる。すべての生命を誕生させるチカラがそこにはある。水の流れる音、鳥のさえずり、木々のざわめき、自分の体の中の水も森と一つになって行く。水が、静かに呼吸をしていた。何度逢っても、森は違う表情を見せてくれる。東京ビジュアルアーツ写真学科卒 (有)ファミリーフォート 〒310-0803水戸市城南1-7-8第一ビル1F TEL 029-224-9200

## 小口 靖弘 定点からの視点

Koguchi Yasuhiro

ひとつの風景は、連続した動きの中で常に変化している。すべてを繋ぎ合わせると、それは動画として見るができる。カメラを定点に据えて、パラパラマンガの一部を抜き出したように重ならない動きの各コマを抜き出し、1枚の写真にしてみた。止まれば、止まり。動けばブレる。当たり前を繋ぎ合わせると、不思議なパラパラ写真の出来上がり。ひたちなか市中根3651-1 小口写真事務所 TEL 029-274-6244

## 長屋 陽 エクスプレッション・フィジーク・2012

『2012年ロンドン五輪／これがスポーツ・フォトグラフィー！』

Nagaya Yo

今回で7回目の夏季五輪大会を撮影した。冬季は4回を数える。これまでに撮影環境はフィルムからデジタルへ、レンズは手動からAFへ、そしてITが写真家たちの仕事様式を激変させた。巨額な放送権料とスポンサー制を受け、五輪は世界最大の娯楽番組となり、その映像はリアルタイムに全世界規模で配信される。2度の世界大戦を克服し時代に適応しつつ、五輪は生物のように進化する。しかし、主役は『人間』。いつまでもそうあって欲しい。水戸市千波町 YO PHOTO WORKS INTERNATIONAL TEL 090-1763-1125



## 及川 隆史 Hunter

Oikawa Takashi

複雑に張り巡らされたネットワーク。コンピュータの前から離れられない人間たち。何もできなくなった人類に代わりコンピュータが感情を持ち世の中を支配しようとする時、謎のデジタル生命体が発生した。「ヤツらを捕らえろ！」——人類の存続をかけ一人の勇者が立ち上がった。彼の名は・・・ハンター。(社)日本広告写真家協会会員 フォトスペースオイカワ 〒319-1114那珂郡東海村南台46-13 TEL&FAX029-282-2480

## 稲田 浩男 アンセルアダムスを思いつつ

Inada Hiroo

私達は今、デジタルカメラで撮影しパソコンで画像ソフトを使い写真を創っているが、これは以前フィルムで撮影し現像液を使って現像、引き出しをしていたこととほぼ同じ作業をしていることに気付く。パソコンでの修正、加工が邪道と思われているふしがあるが、明室で現像液を使わずに作業が出来るようになっただけで、邪道でも何でも無い！最前線とは、いかにこの道具を有効に使うか・・・それに尽きる。イナダスタジオ 笠間市南吉原408-3 TEL&FAX 0296-72-0765

## 小沼 渉 創撮

Onuma Wataru

私の撮影の仕事においてデジタルカメラが主力になって今年で10年目になる。ポジフィルム時代との一番の違いは撮影終了後、更に画像に手を加えることが出来ることだ。撮影ではどうすることも出来ない障害は以前なら人任せにするしかなかったが、今は撮影後に自らの作業で意図通りの画像を創作することが出来る。今回は創作することを意識して作品の制作を試みた。MOON LIGHT 小沼渉写真事務所 〒310-0836水戸市元吉田町1971-1 TEL&FAX 029-246-3241

## 高野 経将 過去未来・その狭間

Takano Nobuyuki

時間は、未来から過去へと流れる。生命は「はざま」で生きる。「はざま」を抜けると過去への道。「今」と言う時間は過去でもあるが、「現在」として「はざま」に留まる。銀塩とデジタルの「はざま」で生きる戦いの終結は近い。趣味の世界では選択は自由である。しかし「写真の専門家」はデジタル化の成熟に合わせて成長しなければならない。はじき出されて「過去」の生きものとならない為に。〒300-1158 稲敷郡阿見町住吉2-5-65 TEL&FAX 0298-42-4172

## 海老原 豊 旅の途中

Ebihara Yutaka

はじめて暗室処理をしたのは24歳の頃、チバクロームというリバーサルフィルムからのプリントだった。そのハイコントラストで透明感あふれるプリントはこの世の物とは思えないほどビビットで、未来から来た新しい金属のような輝きがあった。デジタルは自分で創ることができるフィルム。今デジタルを通過中の写真の面白さは、まだまだこれからあるだろう。自分は写真というよりはこの未来感に取りつかれたのかもしれない。笠間市福原2205 株式会社アートゾーン TEL 0296-74-2065

## 田澤 純 海が見えたとき

Tazawa Jun

砂利道を走るバスはゆらゆら揺られ海へと走る。町の向こうに海が見えた時、大きな窓を開け吸いこんだ磯の香り。小さな胸いっぱい。幼な心になぜかホッとした一瞬の素敵な思い出。言葉なんていらぬ！大切な人に伝えたくて、今、この想いを。写真には不思議な力があると信じているから。いろいろな手法を使い今の自分を表現してみた。ひたちなか市田彦1435-12 j studio TEL&FAX 029-276-0075

